

バンガラデシ「住民参加型農村開発行政支援計画」終了時評価 評価グリッド (調査結果記入済み)

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	調査結果
	大項目	小項目		
1 実績	1-1 上位目標は達成されたか (さる見込みか)		①4ユニオンにおける普及員 (NBDs 含む) が自発的及びVCGのニーズに基づいて村落を訪問した回数、増加 (減少・横ばい) 傾向を示す事象 ②農村住民の行政サービスに対する認知度に関するデータ ③プロジェクトサイト以外でのリンクモデル普及例	現在、UCOMを通じてNBD関係者は、各村からの要望を知り、また、村はVCG議長を通してNBDに來村日程やサービスマニラ提供日程・方法などを調整している。これは、VCGが構成されたことである。正確な回数を特定することは困難であるものの、上記のようにVCGのニーズと基本的に合致していると考えられる。10月16日に開催されたシヨホデブール・ユニオンのUCOMでは、NBDから今後の活動予定が発表された一方、過去の予定が実行されなかった場合には、VCGから説明を要求され、さらに今後の調整がなされていた。 Survey on Villagers' Recognition of NBD's Services の結果に示される通り、PRDPユニオンのVCGが存在する村とPRDPユニオンではない村よりも、行政サービスの認知度が非常に高い。また、その満足度も高いことが明らかである。 PRDPプロジェクトサイト以外の地域においても、リンクモデルセルによって、リンクモデルセルの普及の試みが既に始まっている。現在、ダウドカントンメント郡ジョゴッポット郡ユニオンとメヘルプウル郡ユニオンの2ユニオンにおいてセルのもとリンクモデルが実践されている。また、大ファアリードモデル圏においては、LGEDに配置された日本人専門家によって支援されたリンクモデル普及の別の例が存在している。
	1-2-1 リンクモデルにプロジェクト対象地域以外での適用可能性はあるか (リンクモデルは適用可能なモデルか)		①バ国の農村開発プロジェクトにおいて、リンクモデルと併用されている場合、実質的な類似性を有するプロジェクト対象地域以外での実践例 ②プロジェクト対象地域以外での適用可能性はあるか (その見込み) についての関係者の意見	他の地域においてリンクモデルと類似するアプローチ/コンセプトを用いる他ドナーが支援するプロジェクトは存在している。例えば、UNDPのSitrajgoni Local Governance Development Fund Project、やSIDAのLGDPI (Local Capacity Development Initiative) など。但し、他ドナーの類似アプローチはリンクモデルを模倣したものではない。 アンケートや聞き取り調査の結果では、ほぼ全回答者がリンクモデルの適用可能性について肯定的な見解を示している。それらの意見を総合的に判断すると、現在のプロジェクト以外でも適用可能性はあるモデルと言える。但し、feasibleな全国レベルでの適用を考えると、リンクモデルのエッセンスといえる部分 (UCG, VG, UDO) の機能が確保された上で各地域の地域特性が考慮されるならば適用可能性は大きいと思われる。但し、普及可能性を増大するには、現行政関連機関を最大限に活用することが必要である。
	1-2-2 今後、リンクモデルを政府の主要農村開発アプローチの一つとして位置づける方向性 (意思) は存在しているか		①当該政策決定に関わる担当者 の意見	RDCDIは、リンクモデルを基本的に認知し、向こう3か年の開発計画に含めるよう提案を行なった。また、2003~2004年のADPIには (予算措置はまだ) リンクモデルが含まれている。 (2003年7月1日付けRDCDI代理次官からJICA事務所あてレター) また、リンクモデルが首相府に対しそのコミットメントを得られるよう提案書を提出している。 (BRDB総裁発言、10月20日裁裁時) 2002年後半に行なわれたスタディー・フォーラムにて西ベンガル州への研修報告がなされたが、その際3人の大臣の前でリンクモデルのことが報告された (LGDの会議室で開催され、LGD次官も参加していた) がリンクモデルのことをグラムシヨムシヨムカルの動きに反映させることができないうという提案があり検討がなされた。この委員としてPRDPの矢嶋リーダーも名前を連ねている。但し、1~2回の会合が開催された後現状は不明)。全国版のテレビ放送にてリンクモデルのことが放映されたり、全国紙 (シエラ紙) である日刊誌に2003年8月13日付けでリンクモデルについての記事 (プロジェクト・ダイレクター執筆) "Accelerating rural development in Bangladesh" が掲載されるなど、全国レベルでのマスメディアにも登場している。さらに、中間評価時に行なわれたナショナル・セミナーでは、5~6人の司会者は政策に影響力を持つ人々であるが、リンクモデルを高く評価したこと、同セミナーにてBRDPの代理代表は、試験的な全国展開 (64県の64ウボジラの64ユニオンに拡大) の可能性を示した。このことは複数の政策レベル官僚によって支持され、計画省次官は、次期開発5か年計画にリンクモデルを入れることも示唆している。また、このセミナーには、農村開発に關係する省庁の政策レベル担当者初めと300人が参加している。このように方向性は存在しているが、現段階での到達度は、リンクモデルそのものは以下の通りと限定されたものとなっている: 官報によりUCOMが公的なものとして運営されることと示されたが、あくまでもプロジェクト限定のものであり、ユニオンに限定されているのが現状 (ローカルコンサル調査結果レポート-V: The provision for a Union Co-ordination Committee Meeting was made through a gazette notification in April, 2001. The notification carries the administrative weight of a presidential order but it is a project-specific order, i.e. its scope is
	1-2-3 他地域への普及につながる具体的な活動は行われているか		①BRDBによる全国展開に関する具 体的活動内容	現在は、PRDPのプロジェクトサイト以外でセルが受け持つ普及を試験的に進めているのは、2県の2ユニオンである。Jogotpur ユニオン (Daudkandi Upazila in Comilla District) とKutubpur ユニオン (Meherpur Upazila in Kustia District) の2郡PRDPのプロジェクトサイトを越えて独自にセルがリンクモデルを実践している地域 (ARDDI) に対するUDO機能の伝授する手段としてのマニユアル作りも行なわれている。マニユアルは作成済み。なお、2月に法律が成立したグラムシヨムシヨムカル、UPアプローチは国家として、地方自治局の担当のもと全国に広げられるものである。UPCの建設は地方行政技術局の元で推進される。

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	調査結果
	大項目	小項目		
1-3 成果は達成されたか	1-3-1 プロジェクトの運営体制は整備されたか (成果1)	1-3-1 プロジェクトの運営体制は整備されたか	①人員・予算・設備の確保状況	予定されたとおりの数と条件を満たすカウンタパーパーは配属されている。(プロジェクト・ダイレクター、アシスタント・プロジェクト・ダイレクター、兼任ARDOなど)、設備や施設も提供され(専門家執務室(事務室と研究室機能を持つ)、エレベーター、その他これらに伴う運営経費なども支出されている。: (Financial year: Amount Received, Amount Spent) (2000-2001: 15.89 lakh, 15.15 lakh) (2001-2002: 8.76 lakh, 8.15 lakh) (2002-2003: 5.00 lakh, 4.57 lakh) (2.00 lakh, 2.00 lakh))
			②PGCの開催実績、結果	PGCは四半期に一度の割合で開催されることが計画されていたが、ほぼ予定どおりに開催され、2003年10月時点では(最新の定例会合を2003年9月のものとす)実績開催数は、7回となっている。また、PGCで決定された内容については、適切なフォローがなされている。
			③モニタリングの実施状況	中間評価以降、現場業務の運営、モニタリング体制を包摂するべく行なってきていたが、例えば、UD0から本部への文書による報告を管理する体制作りを含め業務のモニタリングシステムがまだ十分に構築されていない。
1-3-2 UCCの連携調整を担う行政官が育成されたか (成果2)	1-3-2 UCCの連携調整を担う行政官が育成されたか	①現在配置されているUD0の現状	UD0はVCやUCCの調整・運営面で実務的な能力を向上させている。論理的に議事録をまとめるなど事務的能力が増したのみならず、リンクモデルの真髓といえる、地域社会への働きかけ、縦横の連携強化などの力が発揮されていることが観察される。現在非常に優秀(UD0トレナーニングの研修を担える力量)とされるUD0については、過去の研究協力時代から関与していた人材であり、継続的な知識の蓄積がある。新しく任命されたUD0についても、優秀な先行2人の比較において同レベルに到達している成長ぶりが認められることから、過去の研究協力にかかわっていない場合も、一定の能力の育成が認められる。バンガラ・ユニオンのMd. Abdul Khalek (アブドゥル・カレック)氏は、ARDOを兼任して、UD0を行なっている。兼任UD0に対する献身度に関して一部から不十分との指摘があるが、担当するARDOとしての業務の他業務量(リンクモデル以外に6プロジェクトを抱える)から、致し方ない面がある。	
		②UD0によるUCCの運営状況	10月16日に開催されたシヨホデプー・ユニオンでは、UD0のアケル・アリ氏により議事進行が進められたが、多様な参加者を集わせること、その参加者が本音に近い部分で意見を言える環境であること、疑問や不満に対してできる範囲での助言ができれば、非常に良く運営され、また、それを支えるUD0の能力は高いものに育成されている。村からの要望及びNBDの業務に対する確認などが全員の前で明らかにされ議論されること、NGOを含め多様な参加者が多数参加する状況、村の要望の中には、個々の主張が強く出されるような展開にも動じずに話し合いを進めていく技術、問題解決のために常に、基本原則(個人の意見ではなく村の要望として決議し書面に記録し、村の上にある行政部門へつなげていく)に常に戻ることが徹底されていること等。	
		③リンクモデルガイドラインの内容	だが、どのような順序で何をすべきかというところがわかりやすく簡潔に示されており、実際にリンクモデルを實踐しようとする関係者が具体的にイメージできるものになっている点で良く評価することができる。今後、使い勝手の良から、実際の使用者からの意見を反映させることが望ましい。	
1-3-3 UCCを中心として郡、ユニオン、村落間の連携を強化する仕組みが機能しているか (成果3)	1-3-3 UCCを中心として郡、ユニオン、村落間の連携を強化する仕組みが機能しているか	④UD0のTORの認知状況	自分が何をすべきかについて、それぞれ理解していることが、UD0本人たちの聞き取り時の印象から言えるのみならず、日本人専門家からの客観的評価(被験者数)からも、言える。	
		①UCCMの開催実績、出席者等	UCCMの開催実績は、シヨホデプー・ユニオン38回(形成日2001年4月17日)、ナランディヤ・ユニオン37回(形成日2001年4月17日)、バンガラ・ユニオン11回(形成日2002年11月)、サラ・ユニオン11回(形成日2002年11月)となっており、参加者数も恒常的に一定数を超え、その頻度も多様性が確保されており、これらの情報からUCCMは定期的(月1回)に開催され、出席者も期待どおりの参加状況となっていることが確認された。	
		②新規に活用されたウボジラレベ以上の資金調達の種類・回数	タラハリ村の女性性は、全村にトイレを設置したが、ADP(年間開業予算)を活用(ADP及びNGOであるASUPが約20%、村落住民が約30%、PRDPが約50%を負担)して、VCを通しての意思決定のもとに行なわれた例がある。	
	③NBDs職員の横断的連携実績	UCCM出席により、他のNBDsがどのようなことを行なっているのかをお互いに知ることができて役立った、そのことにより、自分の担当するセクター以外の助言(サービスの存在を知らせてアキュセスを促進する等)を促す等横断的な連携が進み、業地ができてきている。また、心理的にも、他のNBDs普及員との連携から、家族的な雰囲気、業務遂行が楽しいと感じるような環境になった。		
	④NBDs職員の行政サービス提供方法の変化	以前は、個人ベースで活動していたが、現在はVCを通じて村との接触ができるようになったことから、主観的判断ではなく村人全体のニーズという観点からより客観的に判断しサービス提供において動けるようになった。また、効率的にも増大し、以前は個別訪問にて行っていた着着へのワークチェン接種が、農地の方から一所に集まりワークチェン接種を受けられることで無駄なくワークチェンを提供できるようになった例がある。(サービス提供の効率性増大+提供物の無駄を排除)		

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	調査結果
	大項目	小項目		
1-3 成果は達成されたか (続き)	1-3-4 VCを中心として、農村住民の開発プロセスへの参加を確保する仕組みが機能する。(成果4)	⑤住民による行政サービスの認知度、満足度	上位目標達成度の見込みの項目に示すとおり: Survey on Villagers' Recognition of NBD's Services の結果に示されるとおり、PRDPユニオンのVCが存在する村の住民はPRDPユニオンではない村の住民よりも、行政サービスの認知度が非常に高い。また、その満足度も高いことが明らかである。	
		①VCの活動実績、出席者等	これまでに結成されたVCの数は、合計39。VCスキームの実績は、21となっている。シヨホデプーブル・ユニオンでは全体村数22の内、結成されたVC数は12、以下同様に、ナランディア・ユニオン43村中13VC、サラ・ユニオン22村中6VC、ハングラ・ユニオン31村中5VCとなっている。	
		②小規模インフラの利用、維持管理状況	10月15日に見学したドッキンチャムリア村の水路土管、道路は機能し、役立つものとして現在活用されていることが観察された。また、タラバリ村に設置されたトイレも大いに活用され、かつて道端で用を足していた状況が改善され、子どもへの衛生教育普及や水への汚染が減少するなど生活が改善された。	
		③掲示板の関心度、認知度、利用率	掲示板のメンテナンスが良くないという指摘がローカルコンサルタントからなされたが、その後の状況は視察した範囲では適切に維持されている状態であった。また、識字率が非常に低い地域であり、掲示板の情報をもとに文字の読める人が読めない人に対して口伝えで各家を通して伝えられることを確認した。掲示板の利用率を数値的に示す調査は実施されていない。	
		④女性のニーズに反映したインフラ事業の割合	10月15日夕刻に訪問したタラバリ村では、女性VCメンバーの声を通じて、約5割を住民負担、約5割をPRDPの小規模インフラ事業費、約2割をADPとNGOの予算から捻出して、全村トイレ設置を行なった。鶏糞、家庭菜園、保健衛生、所得創出活動の4つからの選択であったが、PRDP女性スタッフが村を訪問した際、4名の女性VCメンバーとの話あいで保健衛生のトイレに取り組みたいという意思が固まった。VC設立以前には、女性の要望をくみ上げる組織的なメカニズムは存在しなかったということである。	
1-3-5 リンクモデルの有効性に関する情報が普及されたか (成果5)		⑤VC参加者、受益人口の性別比率	10月15日夕刻に訪問したタラバリ村は、17人のVCメンバーの内4名が女性である。上記の衛生事業のトイレ設置では、女性も人口の約半分を占めるものとして確実に少なくとも受益者の半分となっている。また、農業普及局が女性が対象にした事業を実施する計画のもとで、VCを通じての女性住民のニーズの発掘、サービス受け入れのための社会的準備が整えられていたことなどから、堆肥や家庭菜園についての講習を15名の女性を対象に実施するに到った。現在、この時字んだ技術は生かされ実践されている。	
		①スタディー・フォーラム、セミナー等の内容と回数	現在までにスタディー・フォーラムは合計11回開催されている。参加者の人数は337名に上る。従って、一回の参加者平均人数は約30名となる。中間評価以降の開催は、2003年の11月と4月の2回のみである。(※中間評価時点までには、セミナー2回とフォーラム12回が開催されたことになっているので数字が合わない。) これらは、リンクモデルの機能の普及とPRDP活動の対外調整を担う目的があり、フォーラムにはドナー関係者も招待されている。(See Mid-term eva.P61: With an average attendance of 40 participants from development partners like UNDP, EC, NORAD, SIDA, ADB, JBIC, and different NGOs and governmental organizations, academies, institutions and university.)	
		②各ドナーのリンクモデルに対する評価	ガバナンスのワーキンググループで受ける印象では、リンクモデルを良く知っているドナーはあまりいない (JICA事務所) 。急遽会員したDFID担当者から受けた印象では、単に競争だからリンクモデルを認めないというだけでなく、普段からの十分な情報の共有が不足していると思われた。ドナー会合にて得られた印象でも、十分にリンクモデルを理解しているドナーは少ないことが確認された。と同時に、関心を持っていないことも確認された。	
		③パンドライン、トレーニング、マニユアルの作成進捗状況、内容	作成されたガイドラインについて、一定の評価ができるものだと思われる。これらは、すでにUCGの関係者やPRDPサイト以外の地域でのリンクモデルの応用のため、ダウドカントンでの関係者 (ARDO, JOCV, フィールド・オルガナイザー) への訓練などに利用されており、マニユアルに関しては約200人程度に配布し、最終版へ向けた改訂のために必要なコメントを待っている段階である。ネーミングに関しては、ガイドラインとマニユアルという用語の一般的使い方が、本プロジェクトでの名づけ方が若干異なると思われる。	

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	調査結果
	大項目	小項目		
1-4 投入実績の確認	1-3-6 BRDBのリンクモデル推進体制は整備されているか。 (成果6)	①BRDBリンクモデルセルの現状および今後の活動見込み	<p>プロジェクト・ダイレクターからの聞き取りによれば、1) 予算 * 予算の配置はある。一つの郡(ウバジャラ)につき90米ドル(5000タカ)。現在は、PRDPのプロジェクトサイト以外でセルが受け持った普及を試験的に進めているのは、Jogotpur ユニオン (Daudkandi Upazila in Comilla District) と Kutubpur ユニオン (Meherpur Upazila in Kustia District) の2郡のみであるため、実際には180米ドル。 * この1郡90ドルのコストで実際にカバーされているものは (cover cost to implement Link Model)、会議費(お茶代)、文具消耗品費(書類を作成して回覧するもの)などである。この予算についての関連文書として、正式な文書が存在することを確認(但し、ベンガル語のため口頭で英訳された情報に基づく)。文書をタイプするためタイプコストなどを雇用する費用などは、RDOがその部下の秘書に命ずることで必要とはならない。 * 上記に述べた2地域における試みが機能することが明確になり、その結果を上位に申請、認められればよいよ全国レベルへの展開が始まることになる。(しかしながら、個人的予測ではあるが、全国に広げるにあたっては、ドナーの支援が必要であると感じている)</p> <p>* リンクモデルのオフイスは(物理的には)存在しない。(関係者が基本的に兼任であるので、みなもともとの役職に対して独自の部屋を持っている)</p> <p>2) 人員配置及び命令メカニズム * セルの長は、Director Planningがなっている。UD0としての機能を発揮するために置かれていて、ARDD以外には配置された要員がいるわけではない。セル長のもとに、DD (Deputy Director) = BRDB計画局、AD (Assistant Director) = BRDB計画局、AD (Assistant Director) = BRDB総裁府秘書、そしてARDDという構成になっている。 * さらに、セルをモニタする高位役職委員会 (high position committee) が2003年7月16日付けの文書にて設置され、そのTORが64県 (District) の64ユニオン(Union)にリンクモデルの活動を拡大するためのガイドラインを形成することと示されている。(他のプロジェクトにはこのような委員会は設置されておらず、その設置についてプロジェクト・ダイレクターは必ず3) 研修などの活動 * 行なっている。PRDPのプロジェクトを越えて独自にセルがリンクモデルを実践している地域において、ARDDに対して 4) リンクモデルの全国普及を政策的に支援する裏づけ証拠 * RDCD次官が最近(先月=2003年9月)にUCGMに出席してリンクモデルの推進について述べている。 * コミラモデルへのシフトにより、リンクモデルがしるにされる、あるいは予算的に圧迫されるということはない。 * 上記のようにBRDBがリンクモデルを全国普及へむけて推進する意思があるのは、さらに上位組織からの支援の意思が存在し 5) セル(リンクモデル全国普及)における制約 * 個人的意見ではあるが、64県に広げることになれば、資金が必要となる。財政的な制約を鑑みれば、ドナーからの支援が必要 * リンクモデルの有効性はリンクケージ(行政間、行政と地域)の大切さが明確になり証明されてきている。それを全国に広げ</p>	
		②コミラ・モデル事業関連予算の現状、今後の見込み		<p>これまで、日本人長期専門家3名、短期派遣専門家20名(延数)が派遣された。分野など詳細はミニッツ添付資料参照。 供与された機材は良く維持され、活用されている。ミニッツ添付資料参照。 2つのUDCが建設された。 バン格拉デシュ負担事項はおおむね滞りなく負担されている。1-3-1①参照</p>

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	調査結果
	大項目	小項目		
2 計画策定プロセス	2-1 計画策定プロセスは適切だったか		① 先行研究協力の成果の反映状況	反映されている。が、プロジェクトとプロジェクトの間に時間があいてしまったことが、次のプロジェクトにおいて再度準備に費やす時間を要することになった。
			② カリハティ郡の選定理由、決定プロセス	過去に行なわれた研究協力において、人材が最も育成されていた地域であったことから、本プロジェクトへの活用を考慮して選択された。
			③ プロジェクト目標の設定理由	中間評価時において設定された目標は、当時の挑戦的機運がそのまま反映されてしまったきらいがある。
			④ カリハティ郡での活動とプロジェクト目標との関連	PCM手法を用いた問題分析や目的分析を実施していない。
3 実施プロセス	3-1 実施プロセスは適切だったか		① モニタリング実施状況	中間評価以降、現場業務の運営、モニタリング体制を本国主導で実施するべく行なってきていたが、例えば、フィールドレベル(UDO)から本部への文書による報告管理体制作りが未整備である等、業務のモニタリングシステムがまだ十分には構築されていない。
			② カウンタートーパートとの協議の頻度	定例で行なわれる会議は、カウンタートーパートと日本人専門家が出席して毎週開催されてきている。UGCOMは月に一度の頻度で開催、日本人専門家とUDOは毎日会議を行なう。
			③ 実施にあたって留意した点	① リンクモデルの要となるUDOとは毎日会議を行なうようにして育成を図った。② 事務能力に長けているといった表面的な能力に左右されることなく(事務能力は後からの訓練でいくらでも形成していける)、村に入っていく、村の活力を生かせるよう、彼らUDOの力を伸ばせるような配慮をした。すでに出来上がった人を使うことは容易だが、あかぬげなくとも、村人から受け入れられることを重視し、形式的能力を押し付けるようなことは避けた。

ハングララテシュ「住民参加型農村開発行政支援計画」終了時評価 評価グリッド（調査結果記入済み）

B 評価項目による分析

評価項目	評価段階		分析方法	必要な情報・データ	調査結果
	大項目	小項目			
4 妥当性	4-1 ハングララテシュのニーズ、我が国援助政策・方針と整合性があるか	4-1-1 我が国農村開発政策と整合性があるか	我が国農村開発政策を承認し、プロジェクトが目指す効果（プロジェクト目標、上位目標）と比較する。	①我が国農村開発政策	ある。我が国政府は特にユニオンを中心とした農村開発を促進する政策を打ち、実際に地方行政の重要拠点としてユニオンを中心としてUPC(Union Parishad Complex)を建設する政策を実行し始めた。PRDPではユニオンを中心としてUPCの建設と併せて農村開発の促進策を打ち、PRDPの内容と併せて農村開発の促進策には整合性がある。但し、UPCと国家戦略となつていないUPCとの整合性は、現在の行政制度・構造をリンクモデルに拡大適用することで確保されるものである。
		4-1-2 ハングララテシュに対する我が国援助重点分野等と整合性があるか	我が国援助重点分野、JICAの対ハングララテシュ重点分野を承認し、プロジェクトが目指す効果と比較する。	①我が国援助重点分野、②JICAの対ハングララテシュ重点分野	ある。日本国政府はハングララテシュの国別援助計画の中で援助の重点分野として以下の項目を掲げている。①農業・農村開発と農業生産性向上、②社会分野（基礎生活・保健医療等）の改善、③教育促進、④環境整備、⑤災害対策、PRDPは、特に農村部と都市部の地理的関係の最近と農村開発を通じた貧困緩和を掲げる重点分野①に合致する。従って、プロジェクトと国別援助計画との整合性は保たれている。
		4-1-3 対象分野は我が国援助重点分野、全世界的な援助の潮流と整合性があるか	プロジェクトが目指す効果と中期政策等での我が国援助重点分野、NDGs等での全世界的な援助の潮流と比較する。	①我が国援助重点分野、②NDGs等での全世界的な援助の潮流	ある。援助の世界的潮流、また、その流れに合致する我が国援助重点分野の中で、重要な概念として「ガバナンス」が挙げられる。開発の効果を挙げるためには、利害関係者が開発の計画・実施、資源配分に対して参加する「参加型開発」がガバナンスと不可分とされ、援助を受ける側の自主性を損なうようなドナー主導型支援ではなく、途上国政府及び受益者自身が開発への強い意思を持ち、当事者としての責任を分かちあうことが主体的に開発に取り組みするための「オーナーシップ」の醸成が重要な要素とされている。
		4-1-4 ターゲットグループと想定されるターゲット層（住民及び以下）の関連性はどうか	UPDやNBDs、VO、農民などからの聞き取りから確認する。	①ニーズが確認される事象、②ニーズが確認される事象、②ニーズ調査結果	カリハティ郡のUPDは、UCMをユニオンレベルでのミニ国会であり、リンクモデルは透明性、説明責任を高めているので、カリハティ郡全土に広げてほしい。またゆくゆくは国全土に広げてほしいと発言した。NBD普及員が、リンクモデルが家族的な雰囲気であることそのものが強しと感じていること、村人へ貢献することでのやりがいが増大すること、NBD職員が向上していること、また、これらと一体であるが、実際に住民が効果的方法でより多くの行政サービスを受けようとしていること、行政と地域社会との協働関係を生み出すリンクモデルのニーズは高い。
		5-1 プロジェクト実施により期待された効果が得られたか	5-1-1 成果の達成状況は当初予定どおりか	成果達成状況と当初目標とを比較する。	実績1-3参照
5 有効性 (斜線部分は実績を参照)	5-2 プロジェクト目標の設定は適切だったか	5-2-1 プロジェクト目標の達成状況は当初予定どおりか	プロジェクト目標達成状況と当初目標とを比較する。	実績1-2参照	
		5-2-2 プロジェクト目標は我が国農村開発を進める上で有効か	4ユニオンにおける行政サービスへのアクセス向上状況から総合的に分析する。	実績1-1参照	
		5-2-3 プロジェクト目標は適切なモデルか	80%以上の普及のための活動実施状況、ドナーからの評価などから総合的に分析する。	実績1-2参照	
		5-3-1 成果はプロジェクト目標の達成に貢献しているか（貢献する見込みか）	各成果の達成状況が確立と異なる場合を想定するなどの方法により検証する。	実績1-3参照	
		5-3-2 プロジェクト目標を達成するための成果の設定は適切だったか	類似案件との比較などにより、プロジェクト・デザインの適切さを検証する。	実績1-3参照	
5-3-3 プロジェクト目標の達成のために、プロジェクトの計画、実施内容は適切だったか	関係者ヒアリングにより、外部条件の変化、そのプロジェクトへの影響の有無を確認する。	実績1-3参照	①外部条件（教育されたUPDやARDDの定着状況、関連部署の予算措置、NBDsの投入状況）の変化		

評価項目	評価段階		分析方法	必要な情報・データ	調査結果
	大項目	小項目			
6 効果性		6-1 達成された成果から見て投入の質・量・タイミングは日本側、バングララディシュ側においてそれぞれ適切か	投入・活動実績と成果達成度を、関係者からのインタビューも参考に比較する。投入・タイミングの遅れ等によって、成果達成を阻害した例がないか検証する。	①専門家派遣（人数、タイミング、分野） ②供与機材（種類、数、タイミング）の適正 ③研修員受入（タイミング、人数、研修内容） ④NPOの配置（人数、タイミング、分野） ⑤プロジェクト運営費 ⑥提供された施設設備の適正度	おおむね適切であった。 おおむね適切であった。但し、TAPPとの整合性が当初とれていなかったことから来る困難が存在していた。
		6-1-1 日本側投入の適正度		①人材 ②資材・機材 ③業務費	適正であった。 適正であった。 適正であった。 十分に活用されている。
		6-1-2 バングララディシュ側投入の適正度	投入・活動実績と成果達成度を、関係者からのインタビューも参考に比較する。投入・タイミングの遅れ等によって、成果達成を阻害した例がないか検証する。	①NPOの配置（人数、タイミング、分野） ②プロジェクト運営費 ③提供された施設設備の適正度	適正であった。 適正であった。 適正であった。
		6-1-3 投入の活用度		①人材 ②資材・機材 ③業務費	十分に活用されている。維持状況も良い。
7 インパクト <small>（創設前は実績を参照）</small>		7-1 プロジェクトの長期的、波及的効果はあるか	実施項目参照	①プロジェクト運営委員会等実施状況、②合同調整委員会の実施状況	実績1-1/参照
		7-1-1 上位目標は達成される見込みか	実施項目参照		実績1-1/参照
		7-1-2 4ユニオンでの行政サービスへのアクセスは改善したか	実施項目参照	実施項目参照	実績1-1/参照
		7-1-3 その他、予期しなかった正負の影響はあるか	実施項目参照	実施項目参照	実績1-1/参照
					<p>*タラバリVOにおいて、女性が中心となった全村株株衛生事業。UCOMで発表したところ、やりたいという意見が出て、村の衛生意識が高まり、全戸トイレ106戸を設置した。</p> <p>*UP理事長が、透明性や説明責任が上がったことの結果として、ルールを守り公正であろうとする態度へ変わっていった。</p> <p>*UP理事長が、最初はリンクモデルを推進する最大のサポートとなっていた。</p> <p>*UP理事長が、リンクモデルが家族制の弊害を指摘したこと、そのものが嬉しいと感じている。</p> <p>*UP理事長が、リンクモデルはいいアイデアであると言いつつ、リンクモデルでは取って代われないと言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。</p> <p>*UP理事長が、リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。</p> <p>*UP理事長が、リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。</p> <p>*UP理事長が、リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。リンクモデルの口から「透明性」「説明責任」という言葉を返された。</p>

評価項目	評価段階		分析方法	調査結果	
	大項目	小項目		必要な情報・データ	
8 自立発展性	8-1 ユニオンにおけるVC、UGCが互利的に活動を継続できるか		VC、UGCの活動の経過を分析し、プロジェクト終了後も互利的に継続できる可能性を検証する。	①VC、UGCの活動の経過 ②BRDBの方針（VCスキームなど関連費用の財政的担保について） ③BRDBの方針（3ユニオンのUD0の政府職員としての雇用（採用し給料を支払う）の見込みについて） ④BRDBリンクモデルの現状および今後の活動見込み ⑤コミラ・モデル事業関連予算の現状、今後の見込み ⑥BRDBにおけるリンクモデル推進のための今後の方針	VCの話題を反映するUGCの経緯は、例えば以下のとおり、小規模インフラのみならず、NRDサービスと関連する多様な分野に渡っている。*ユニオン税、*トイロ船、*屋敷地借渡、*初等教育改善、*交通安全対策、*EPI、*村道修理、*養鶏ワクチン接種、*VCメンバーの交代、*養鶏、*健康問題改善、*地味医療機関開設、*家畜、*環境、*非営業者保護、*洋裁訓練等。 呼び水と考えられるVCスキームが持続性を保つ唯一の手段ではないことが、示される例が出てきている。河合専門家調査報告では、後期設立VCがこれに固執することなく、NRDとのリンク強化、行政サービス享受しながら、プログラムの補助事業を立案するという形態をとっている。VCスキームがなくとも持続性を保つことは不可能ではない。
		8-2 リンクモデルを他地域に普及することは可能か	3ユニオンのUD0の政府職員としての雇用の見込みについて BRDBの方針を確認する。 リンクモデル推進セルの活動状況などからBRDBによる普及の可能性を検証する。 UD0として活動しているARDBの活動状況から、他地域でARDBを活用することの実現可能性を検証する。 JCV隊員の活動状況、大フォロドプールの配置されているJVICとの連携専門家の現状を確認する。 4ユニオンにおけるリンクモデル導入が他地域社会に与えたインパクトを、ターゲット・アプローチャと比較して、検証する。	⑦PRDPでの地域社会のインパクト、⑧他プロジェクト、プログラムでのターゲット・アプローチャをとりまくものによる他地域社会へのインパクト ⑨関係者のモチベーション、参加のインセンティブ ⑩関係者のモチベーション、参加のインセンティブ	現在のプロジェクト雇用によるUD0の政府職員としての雇用は容易ではないが政策判断が今後必要。BRDBとしてできることは、ARDBの配置と賃金経費に携わるフィールド・オルガナイザーを配置することなどが可能性の一つである。 達成度 1-3-6 参照 兼任のARDBについては、業務量がかなりの負担となり、プロジェクトの経費（物理的移動やオフィスアワー以外の活動が重要なこと）が求められることから、専任UD0並みの成果を要求することが難しい。 JCV隊員がリンクモデル普及を担うコミラ担当がドカンドキャンデー動では、VCはまだ完全には普及されていないが、UD0が明確な役割を担っている。ここでは、資金不足から、福栄を配置していないなど、必ずしもリンクモデルの100%コピーではなく、普及のためには周辺コンポーネントに関しては、ある程度柔軟しながら実施している。JVICとの連携のための専門家は、リンクモデルそのものの100%コピーではなく、足りないところは補い、VCスキームをこなす方向で実施を予定している。 他地域社会に与えたインパクトは、大きいといえる。しかしながら、行政組織を巻き込むことより、重層的に利益者にアプローチする「ターゲット・アプローチャ」との比較研究が存在しないこと、終了後詳細調査の時間的制約から困難であるため、今後の研究課題の一つとなりうる。
			VCスキーム（小規模インフラ事業）がなくとも住民が主体的にVCに参加するなどの、住民のVC参加のインセンティブが他地域でも確保される見込みがあるかどうかを検証する。		初期設立VCが公共工事的なVCスキームを使ったのに対し、後期設立のVCはよりNRDサービスとの関係の深いVCスキームに移っていったことから、VC-UIC関係の成立がVCメンバーを中心とした自治体住民の期待を行政サービスへのアクセスの向上にシフトしたことを示している。VCスキーム財源を必ずしも必要とせず、既存のNRD活動の効率化の観点から、プロジェクトの普及を示している。以上のVCスキーム実績以外に、自分たちの資金から、プロジェクトの普及から示された収入から村の道路を建設したり、また、VCが機能したことをきっかけとして、その後自らの負担でトイレを設置するなどの動きが3〜4村において現れ出している。ARDBやNRDの予算を動員してVCスキームによるトイレ設置を実現した例もある。但し、VCスキームが大きな呼び水、また、ポトムアップの計画立案を要する機会であることは否めず、効果の速度は確実に速くなる。
			日本人の介入（プロジェクト・コスト）によるお茶の提供を日本にVCに参加するなどの、NRD職員がUICM、VCMに参加するインセンティブが働く見込みがあるかどうかを検証する。		普及員がUICMに参加する動機は、実際に自分の担当する業務がより効果的に行なわれるようになり、そのことにより改善された住民へのサービス提供増大や村とのつながりが増したことで、村人からの信頼を得たこと、他のNRDとのネットワークを広げ、働く環境がより快適になったことがインセンティブになっていることが確認されたことから、日本の介入がなくとも継続していく可能性は大きい。

4. 農村住民の行政サービスに対する認知に関する調査（宇佐見短期専門家報告書から抜粋）

添付資料4

農村住民の行政サービスに対する認知に関する調査（タンガイル県カリハテ郡）

宇佐見専門家業務報告書（抜粋）

派遣期間：平成15年8月5日～8月26日（報告書作成日 2003年9月）

派遣先：Bangladesh Rural Development Board（バングラデシュ農村開発公社）

指導分野：農村経済

派遣専門家：宇佐見晃一（山口大学農学部助教授）

本年4月に設計し、今回実施された下記の調査によって収集されたデータの内、3つの農村のデータについて一次集計をおこなった。

Survey on Villagers' Recognition of (Awareness to) NBDs' Services

目的：行政サービスに対する村人の認識・認知について、PRDP地域と非PRDP地域の間、PRDP地域内農村間で比較検討する。

対象：非PRDP地域内の2農村および1定期市、PRDP地域内の10農村および3定期市（バザールを含む）において、それぞれ100人を目標に聞き取り調査する。聞き取り調査を行った農村および定期市の場所は添付資料3に一覧されている。

考察：

家族計画サービス、乳幼児対象ワクチン接種、妊婦対象予防注射は、PRDPの有無に関係なく、高い認知がみられる。全体的にPRDP農村では行政サービスに関する認知は比較的高いが、(40%以上の方が認知しているという点から) Agricultural Demonstration Plot, Credit, Vaccination (livestock), Textbook Delivery, Agriculture Advice, School Visit, VGD (Vulnerable Group Development), VGF (Vulnerable Group Fund) において顕著に高い認知が確認できる。

宇佐見専門家報告書 添付資料3

I 標本数の一覧

(単位：人)

Hat/Bazaar	標本数	農村	標本数
<PRDP>		<PRDP>	
Powjan ¹	150 (0)	Chunutia ¹	101 (51)
Narandia ²	124 (0)	Noitangar ¹	100 (50)
Kushutia ³	60 (0)	Kadamtali ²	100 (49)
Dewpur ⁴	190 (0)	Karua ²	102 ()
		Luhuria ²	102 (49)
		Billkachina ²	103 (50)
		Mozafargati ³	100 (52)
		Borta ³	101 (48)
<Non-PRDP>		<Non-PRDP>	
Auliabad ⁵	200 (0)	Shinghatia ⁶	101 (50)
		Poshna ⁷	100 (55)

注1) 各Hat/Bazaar、農村が位置するユニオン（地区）名は、以下の通りである。

1: Shahadevpur, 2: Narandia, 3: Bangra, 4: Salla, 5: Birbasinda 6: Paikara, 7: Kakdahara.

2) () 内の数字は、女性標本数の内数である。
 質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

「Yes」の欄において、40 を超える数値を□で囲っている（以下、同様）。

<PRDP 農村>

(単位：%)

農村 行政サービス	Chunutia		Noitangar	
	Yes	No	Yes	No
Agriculture demonstration plot	49	50	7	89
EPI camp	99	1	93	3
Credit	47	53	15	81
Vaccination (livestock)	77	23	8	88
Textbook supply	56	44	65	31
Arsenic test	11	89	1	95
Fish culture advice	35	64	3	93
Agriculture advice	50	50	13	83
Family planning	96	4	93	2
Visit cooperatives	26	74	0	96
Allowance	27	73	0	96
Visit school	44	56	19	77
Repair tube well	12	87	0	93
Artificial insemination	27	73	3	93
Fishery training	21	79	1	95
Construct road/bridge etc.	39	61	27	69
Sanitation	16	84	0	96
Agriculture training	31	69	2	94
Income generation training	5	95	0	96
VGD	47	53	41	55
VGF	47	53	25	71

注) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

<PRDP 農村>

(単位：%)

農村 行政サービス	Kadamtali		Karua	
	Yes	No	Yes	No
Agriculture demonstration plot	30	69		
EPI camp	87	12		
Credit	26	73		
Vaccination (livestock)	53	46		
Textbook supply	62	37		
Arsenic test	15	83		
Fish culture advice	29	69		
Agriculture advice	44	55		
Family planning	87	12		
Visit cooperatives	5	94		
Allowance	24	75		
Visit school	35	64		
Repair tube well	9	90		
Artificial insemination	14	85		
Fishery training	24	75		
Construct road/bridge etc.	18	81		
Sanitation	8	91		
Agriculture training	23	76		
Income generation training	1	98		
VGD	49	50		
VGF	39	57		

注1) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

<PRDP 農村>

(単位：%)

農村 行政サービス	Luhuria		Billkachina	
	Yes	No	Yes	No
Agriculture demonstration plot	5	93	13	87
EPI camp	96	2	99	1
Credit	28	70	11	88
Vaccination (livestock)	32	66	6	94
Textbook supply	59	39	64	34
Arsenic test	2	96	4	96
Fish culture advice	4	94	3	94
Agriculture advice	13	84	20	80
Family planning	93	5	90	10
Visit cooperatives	0	98	1	99
Allowance	0	98	3	95
Visit school	18	80	26	74
Repair tube well	1	97	2	98
Artificial insemination	5	93	4	96
Fishery training	2	96	1	99
Construct road/bridge etc.	19	79	15	85
Sanitation	0	98	1	99
Agriculture training	0	98	4	96
Income generation training	0	98	0	100
VGD	39	59	46	54
VGF	21	77	36	63

注) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

<PRDP 農村>

(単位：%)

農村 行政サービス	Mozafargati		Borta	
	Yes	No	Yes	No
Agriculture demonstration plot	6	94	24	75
EPI camp	91	9	83	16
Credit	20	79	24	75
Vaccination (livestock)	25	74	34	65
Textbook supply	48	51	51	47
Arsenic test	2	97	3	95
Fish culture advice	6	93	7	91
Agriculture advice	7	92	25	73
Family planning	97	2	78	20
Visit cooperatives	1	98	1	97
Allowance	6	93	7	91
Visit school	17	82	27	71
Repair tube well	0	99	1	97
Artificial insemination	4	95	5	93
Fishery training	3	97	6	92
Construct road/bridge etc.	21	79	27	71
Sanitation	2	96	2	96
Agriculture training	5	94	17	81
Income generation training	1	97	1	97
VGD	41	58	48	50
VGF	27	72	33	63

注) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

<Non-PRDP 農村>

(単位：%)

農村 行政サービス	Shinghatia		Poshna	
	Yes	No	Yes	No
Agriculture demonstration plot	8	92	0	95
EPI camp	65	35	73	25
Credit	18	92	7	89
Vaccination (livestock)	6	94	18	78
Textbook supply	13	87	18	78
Arsenic test	5	95	1	95
Fish culture advice	5	95	8	88
Agriculture advice	6	94	3	93
Family planning	72	28	57	37
Visit cooperatives	4	96	1	95
Allowance	7	93	7	89
Visit school	6	94	7	89
Repair tube well	5	95	1	95
Artificial insemination	5	95	2	94
Fishery training	4	96	4	92
Construct road/bridge etc.	4	96	6	90
Sanitation	4	96	6	90
Agriculture training	6	94	3	93
Income generation training	1	99	0	99
VGD	10	90	11	85
VGF	10	90	10	86

注) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

<PRDP 農村>

(単位：%)

Hat/Bazaar	Powjan		Narandia	
	Yes	No	Yes	No
行政サービス				
Agriculture demonstration plot	33	66	31	65
EPI camp	57	41	52	44
Credit	47	46	30	68
Vaccination (livestock)	39	53	34	61
Textbook supply	35	57	31	63
Arsenic test	15	72	21	73
Fish culture advice	25	63	23	72
Agriculture advice	30	55	38	55
Family planning	59	27	50	44
Visit cooperatives	9	70	16	77
Allowance	20	61	26	67
Visit school	29	53	31	61
Repair tube well	16	61	26	67
Artificial insemination	22	51	24	69
Fishery training	24	55	26	67
Construct road/bridge etc.	25	51	23	68
Sanitation	13	61	15	76
Agriculture training	26	51	21	69
Income generation training	7	64	9	81
VGD	45	39	38	56
VGF	44	40	40	53

注) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

<PRDP 農村>

(単位：%)

行政サービス	Kushutia		Dewpur	
	Yes	No	Yes	No
Agriculture demonstration plot			23	77
EPI camp			79	20
Credit			16	84
Vaccination (livestock)			29	70
Textbook supply			58	42
Arsenic test			8	92
Fish culture advice			9	91
Agriculture advice			24	75
Family planning			78	22
Visit cooperatives			0.5	99.5
Allowance			14	86
Visit school			23	77
Repair tube well			4	96
Artificial insemination			15	85
Fishery training			7	93
Construct road/bridge etc.			23	77
Sanitation			4	96
Agriculture training			16	84
Income generation training			0	100
VGD			48	52
VGF			38	61

注) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、次の行政サービスを知っていますか？

<Non-PRDP 農村>

(単位：%)

行政サービス	Auliabad	
	Yes	No
Agriculture demonstration plot	11	89
EPI camp	79	20
Credit	24	76
Vaccination (livestock)	28	72
Textbook supply	51	49
Arsenic test	7	93
Fish culture advice	7	93
Agriculture advice	14	85
Family planning	58	42
Visit cooperatives	1	99
Allowance	7	93
Visit school	13	87
Repair tube well	1	99
Artificial insemination	5	95
Fishery training	5	95
Construct road/bridge etc.	21	79
Sanitation	2	98
Agriculture training	5	95
Income generation training	2	97
VGD	38	62
VGf	24	75

注) Yes: 知っている, No: 知らない。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<PRDP 農村>

(単位：%)

農村	Chunutia		Noitangar	
	Yes	No	Yes	No
行政サービス				
Credit	42	58	12	88
Artificial insemination	30	70	3	97
Visit cooperatives	22	78	0	100
Fishery advice	27	73	1	99
Agriculture advice	47	53	10	90
EPI camp	99	1	91	9
Agriculture training	13	87	4	96
Sanitation	17	83	0	100
Fishery training	10	90	0	100
Allowance	17	83	2	98
Family planning	96	4	89	11
Agriculture demonstration plot	15	85	5	95
Vaccination (livestock)	77	23	4	96
Textbook supply	53	47	57	43
Repair tube wells	1	99	0	100
VGF	23	77	7	93
VGD	23	77	7	93
Construct road/bridge etc.	41	59	14	86
Income generation training	1	99	0	100
Arsenic test	1	98	0	100
Visit schools	39	60	16	84

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<PRDP 農村>

(単位：%)

行政サービス	Kadamtali		Karua	
	Yes	No	Yes	No
Credit	17	83		
Artificial insemination	15	85		
Visit cooperatives	3	97		
Fishery advice	32	68		
Agriculture advice	42	58		
EPI camp	84	16		
Agriculture training	28	72		
Sanitation	12	88		
Fishery training	20	80		
Allowance	15	85		
Family planning	81	19		
Agriculture demonstration plot	18	82		
Vaccination (livestock)	32	68		
Textbook supply	63	37		
Repair tube wells	3	97		
VGF	20	80		
VGD	19	81		
Construct road/bridge etc.	14	86		
Income generation training	1	99		
Arsenic test	13	87		
Visit schools	40	60		

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<PRDP 農村>

(単位：%)

農村	Luhuria		Billkachina	
	Yes	No	Yes	No
行政サービス				
Credit	12	88	11	88
Artificial insemination	4	96	2	97
Visit cooperatives	1	99	0	99
Fishery advice	2	98	0	99
Agriculture advice	5	95	18	82
EPI camp	89	11	91	8
Agriculture training	1	99	3	96
Sanitation	0	100	3	96
Fishery training	0	100	1	99
Allowance	1	99	2	98
Family planning	75	24	79	20
Agriculture demonstration plot	1	96	3	97
Vaccination (livestock)	3	97	0	100
Textbook supply	54	46	59	41
Repair tube wells	0	100	0	100
VGF	6	94	3	97
VGD	7	93	2	98
Construct road/bridge etc.	4	96	2	98
Income generation training	0	100	0	99
Arsenic test	0	100	1	97
Visit schools	14	86	20	78

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<PRDP 農村>

(単位：%)

行政サービス	Mozafargati		Borta	
	Yes	No	Yes	No
Credit	15	85	15	85
Artificial insemination	1	99	6	94
Visit cooperatives	0	100	0	100
Fishery advice	5	95	1	99
Agriculture advice	3	97	17	83
EPI camp	87	13	75	24
Agriculture training	2	98	12	87
Sanitation	2	98	4	95
Fishery training	2	98	2	98
Allowance	5	95	4	95
Family planning	97	3	72	27
Agriculture demonstration plot	1	99	8	91
Vaccination (livestock)	4	96	11	87
Textbook supply	44	56	41	58
Repair tube wells	0	100	0	99
VGF	11	89	4	95
VGD	10	90	6	93
Construct road/bridge etc.	17	83	3	96
Income generation training	0	100	0	100
Arsenic test	0	100	0	100
Visit schools	20	80	29	71

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<Non-PRDP 農村>

(単位：%)

農村	Shinghatia		Poshna	
	Yes	No	Yes	No
行政サービス				
Credit	12	88	3	96
Artificial insemination	2	98	1	98
Visit cooperatives	0	100	0	99
Fishery advice	0	100	5	94
Agriculture advice	5	95	1	98
EPI camp	52	48	62	37
Agriculture training	3	97	1	98
Sanitation	2	98	0	99
Fishery training	1	99	2	97
Allowance	1	99	1	98
Family planning	58	42	52	47
Agriculture demonstration plot	2	98	0	99
Vaccination (livestock)	2	98	5	94
Textbook supply	13	87	21	78
Repair tube wells	0	100	1	98
VGF	2	98	2	96
VGD	2	98	4	95
Construct road/bridge etc.	4	96	2	97
Income generation training	0	100	0	99
Arsenic test	3	97	0	99
Visit schools	2	98	1	98

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<PRDP 農村>

(単位：%)

行政サービス	Hat/Bazaar	Powjan		Narandia	
		Yes	No	Yes	No
Credit		22	76	15	85
Artificial insemination		10	88	12	85
Visit cooperatives		4	93	0.8	97
Fishery advice		13	86	14	84
Agriculture advice		18	80	22	76
EPI camp		59	41	59	39
Agriculture training		11	87	11	86
Sanitation		9	88	11	86
Fishery training		10	87	11	86
Allowance		7	90	12	85
Family planning		67	32	60	37
Agriculture demonstration plot		9	89	9	89
Vaccination (livestock)		32	76	17	81
Textbook supply		30	68	28	69
Repair tube wells		6	91	8	89
VGF		26	73	24	73
VGD		22	77	23	74
Construct road/bridge etc.		18	78	19	78
Income generation training		3	90	10	87
Arsenic test		5	89	19	78
Visit schools		23	74	23	74

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<PRDP 農村>

(単位：%)

行政サービス	Hat/Bazaar	Kushutia		Dewpur	
		Yes	No	Yes	No
Credit				8	92
Artificial insemination				5	95
Visit cooperatives				0	100
Fishery advice				7	91
Agriculture advice				17	83
EPI camp				69	30
Agriculture training				8	92
Sanitation				0.5	99
Fishery training				4	96
Allowance				7	92
Family planning				76	23
Agriculture demonstration plot				7	92
Vaccination (livestock)				12	88
Textbook supply				54	46
Repair tube wells				0.5	98
VGF				15	85
VGD				13	86
Construct road/bridge etc.				19	81
Income generation training				0	99
Arsenic test				7	92
Visit schools				19	79

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

質問：あなたは、過去2年間において、次の行政サービスを受けました。

<Non-PRDP 農村>

(単位：%)

行政サービス	Hat/Bazaar	Auliabad	
		Yes	No
Credit		10	90
Artificial insemination		3	97
Visit cooperatives		0.5	99.5
Fishery advice		1	99
Agriculture advice		9	91
EPI camp		66	34
Agriculture training		6	94
Sanitation		2	98
Fishery training		3	97
Allowance		0.5	99.5
Family planning		49	51
Agriculture demonstration plot		2	98
Vaccination (livestock)		11	89
Textbook supply		42	58
Repair tube wells		0	100
VGF		4	96
VGD		5	95
Construct road/bridge etc.		9	91
Income generation training		0	100
Arsenic test		6	94
Visit schools		14	86

注) Yes: 受けました, No: 受けていません。

5. プロジェクト作成資料 (VC スキーム記録、ショホテプールユニオン関連情報等)

Participatory Rural Development Project (PRDP/BRDB)
V.C Scheme Record
Sahadeb pur Union

SL.NO	V.C Name	Scheme Name	Year	Start Date	Last Date	PRDP/ADP Contribution	Village contnri butioa	Total		Tax		
								Budget	Total	Duc	current	Total
1	NIGAIR	Link Road Construction(1825')	2001	21/3/01	15/4/01	44320/=	11080/=	55400/=	3980	5020	9000	No
2	Baniafair	Sutradar Para,Para Road Repairing	2001	21/3/01	16/4/01	25570/=	6392/=	31962/=	633	967	1600/=	No
3	D. Chamuria	Construction of Ring Culvert	2001	4/5/01	5/7/01	49458/=	24735/=	74193/=	1000/=	1900	2900	1242/=
4	Sunutia	Sunutia School Field Earth Work And Agaveyard link Road	2002	26/12/02	18/03/03	48505/=	16425/=	65700/=	0	4746/=	4746/=	770/=
5	D.chamuria	Middle para, Para Road Repairing(1550')	2002	2/4/02	30/6/02	42100/=	11000/=	54990/=	2332	467	2799/=	1892/=
6	D.chamuria	Middle para, ParaRoad RE-Repairing	2003	11/2/03	18/2/03	9950/=	0	10,000	0	0	0	50/=
7	Bniafair	Sha para, ParaRoad Repairing(2510')	2002	13/4/02	21/7/02	34364/=	12520/-	62520/=	0	4041	4041	15636/=
8	Bniafair	Sha para, ParaRoad RE-Repairing (1100)	2003	10/1/03	6/2/03	12206/=	0	25636/=	0	0	0	13430/=
9	Mundail	Mundail Cannel Digging(ADP) 1470'	2002	11/5/02	22/5/02	25000/=	6250/=	31250/=	0	34991	3499	No
10	Chang Baniafair	Chang Baniafair Para Road Repairing	2002	28/5/02	7/7/02	38487	11072/=	55360	634	1492	2126	5801/=
11	Chang Baniafair	Chang Baniafair Para RoadRE- Repairing	2003	14/1/03	17/3/03	6031/=	0	6100/=	0	0	0	69/=
12	Nigair	Nigair Singrah to Rangai Dha link Road	2003	27/1/03	15/3/03	15887/=	7408	37040/=	0	3980/=	3980/=	13745/=
13	D. Chamuria(ADP)	D. Chamuria North Para Road Repairing	2003	23/5/02	26/6/03	24000/=	0	24000/=	0	0	0	0

Participatory Rural Development project (P.R.D.P)
Shahadebpur Union
VC Statistics

Description	Dakshin Chamuria	Nigair	Baniafair	Powjan	Sunutia	Pukhuria Ichhapur	Chak Baniafair	Mundail	Gopinathpur	Akua	Nai-tangar	Sona Satkura
Population	2889	882	3020	1165	920	530	566	686	366	2466	548	268
Male	1897	442	1522	595	470	270	304	362	211	1326	275	140
Female	1392	440	1498	570	450	455	285	324	155	1140	273	128
Household	604	166	602	265	196	95	119	143	80	523	116	60
VC Members	25	17	27	21	17	19	15	17	17	23	17	17
Male	19	15	21	16	14	16	12	15	14	19	14	14
Female	06	02	06	05	03	03	03	02	03	04	03	03
Date of Applied for VC	-	20/11/2000	20/11/2000	17/01/2001	09/08/2001	17/03/2002	10/02/2002	20/01/2002	08/03/2002	17/03/2002	15/04/2003	15/08/2003
Date of Formed	-	23/11/2000	26/11/2000	28/01/2001	08/02/2002	21/03/2002	15/02/2002	14/04/2002	22/04/2002	08/02/2003	25/04/2003	02/09/2003
Affiliation Date	17/12/2000	17/12/2000	17/12/2000	22/05/2001	15/03/2002	15/03/2002	15/05/2002	15/04/2002	15/05/2002	15/03/2003	22/05/2003	15/09/2003
Govt Primary School	1	1	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-
Non Govt. Primary School	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Low Cost Primary School	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
NGO School	3	2	5	2	1	1	1	-	1	2	2	-
No. of High School	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No. of College	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No. of Dakhil Madrasa	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
No of Mosque	4	1	5	2	1	1	1	1	1	4	-	1
No. of Temple	-	-	3	3	-	-	1	1	-	-	5	-
Play ground	1	-	1	1	-	-	1	-	-	1	-	1

Description	Dakshin Chamuria	Nigair	Baniafair	Powjan	Sunutia	Pukhuria Ichhapur	Chak Baniafair	Mundail	Gopinathpur	Akua	Nai-tangar	Sona Satkura
Grave	3	1	1	1	1	-	1	-	-	1	1	1
Clemation-ground	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No. of Pond	23	7	-	14	8	-	-	8	4	6	8	3
No. of STW	28	10	31	19	10	11	9	9	7	7	5	4
No. of Tube-well	243	73	302	132	101	57	36	75	38	-	-	-
No. of Latrine	333	130	356	277	132	82	56	99	50	-	-	-
Earthen	237	105	241	250	79	19	48	40	23	-	-	-
Pacca	96	25	115	27	53	63	8	59	27	-	-	-
No. of Rice mills	1	1	2	1	1	1	1	-	-	-	1	1
Power tiller	2	1	6	2	8	2	1	3	2	2	2	-
Rickshaw & Van	29	13	31	21	2	9	5	9	-	5	11	18
Electrified Family	40	20	37	32	22	27	13	25	42	237	50	2
No. of TV	29	8	27	15	7	16	6	8	3	18	14	-
No. of Hat	1	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-
No. of Bazar	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
No. of Orphanage	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Aftedaye Madrasa	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No. of bicycle	87	25	73	72	22	17	11	14	15	33	10	16
No. of Motorcycle	5	3	5	6	1	2	1	2	-	2	-	-
No. of Track	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
No. of Bus	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No. of Tempo	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
No. of Microbus	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No. of Library	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Description	Dakshin Chamuria	Nigair	Baniafair	Powjan	Sunutia	Pukhuria Ichhapur	Chak Baniafair	Mundail	Gopinathpur	Akua	Nai-tangar	Sona Satkura
UP Building	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Health Complex	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FWC	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
No. of Clinic	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UDC	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Sanirvar Office	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Frise	6	1	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-
DTW	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
Daha (Rangai)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

South Chamuria at a Glance

1. Date of Formation of VC	13/01/1993
2. Number of HH	604
3. Member of the VC	25
4. Female Member	6
5. Monthly meeting	9 th of each months
6. Major Issues of discussion :	01. Village development 02. Education 03. Health 04. Recreation/culture 05. NBDs visit 06. Hat/bazar/library improvement 07. Family Planning 08. village conflicts etc

Changes at South Chamuria Village After PRDP

01. Para roads – 4
02. VC meeting hall-1
03. Hat land purchased
04. Shop – 1
05. Post office- 1
06. Ring culvert/bridge
07. Bridge from LGED
08. Bridge from district council
09. Box culvert from CARE
10. Community clinic-1
11. Enrolment of student 100
12. Intensity of visit of Block Supervisor increased and for their motivation crop production increased
13. 17 Ponds as by product of road construction
14. 23 ponds are under fish culture
15. Regular Vaccination of poultry birds and cattle
16. EPI 100%
17. Safe drinking water 100%
18. Family planning 90 %
19. Improved Sanitation (70 %)
20. Plantation substantially increased
21. Vegetable cultivation increased
22. People go to the Library and their reading habits increased
23. Post office
 - Can send money and receive by Money order
 - They get letter in time
 - Saving habits increased
24. Handicraft and swing training to 40 women
25. Number of Traders increased
26. Rick increased from 3-29